

パネルディスカッション 3

「小児の上部消化管疾患の特徴」

司会 深堀 優（久留米大学医学部外科学講座小児外科部門）

中山 佳子（信州大学医学部小児医学教室）

小児期の消化管疾患は、常に発育と発達を特徴とするこどもの成長に大きな影響を与える。診療の対象となる疾患は、先天性疾患から移行期医療の対象となる慢性疾患まで多岐に渡り、その診断と治療には複数の専門領域の医療者の連携を要することが少なくない。本パネルディスカッションでは、新生児からAYA 世代までの小児における食道から十二指腸の上部消化管疾患の診断と治療に関する臨床研究、ならびに基礎研究を多角的に議論したい。